

助成事業実施報告書

団体名 押立車返ささえあい協議会

代表者・役職名 氏名 会長 飛澤明夫

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調でお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

世代を超えた地域の居場所づくり

2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期＝法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

店舗の空きスペース等を定期的に利用させていただき、子育て世代からお年寄りまでの住民が気軽に立ち寄れる居場所を創設する。地域内で「孤立している住民」を作らないよう、その場所にて、「多世代交流会」「困りごと相談」「寺子屋」「パソコンセミナー」「子ども食堂」などを展開する。開設に当たっては、地域の小中学校や商店街とも連携をして進めている。2020年3月現在の会員数15名。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

地域主体の活動が叫ばれ始めて久しいが、町会や自治会への参加率は低く、その主たる担い手となる役員は高齢化が進んでおり、また核家族・ひとり親世帯等の増加もある。そのような状況のなか、既存の町会や自治会の枠を超えたコミュニティの創設が重要になってきており、かしまった場ではなく、日常的にくつろぎながら、なんとなく相談が出来るスペースの確保が急務であると感じ、今回の居場所づくりに取りかかることとなった。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

居場所の開設時間は、10:00～16:00までとし、当初おおむね週に2～3回程度とし、状況を見ながら開催した。利用者の利用料は原則として無料とし、イベント開催時には、スタッフが常駐し、スペースを自由に使えるようにした。利用者は小グループでの懇談、不登校生向けの自習スペースのほか、不定期での講習会(SNS講習・マンション防災講習、ポリ袋調理、災害応急トイレの使い方、高齢者サロン活動、小学生への学習支援)を開催した。

居場所作り活動を始めたことによって、地域のスーパーマーケット、小中学校、老人施設などから認知をしていただき、数回、使用させていただく機会をいただいた。

本プロジェクトの範疇として扱ってはいませんが、『男の料理教室』、『唄サロン』、『地域の防災訓練』、『ちょこっとお手伝い』、『団体の啓発活動』についても、定期的に行うことが出来た。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

小グループ懇談会22回(178名)、小学生への学習支援10回(58名)、高齢者サロン8回(113名)、マンション防災講座(26名)、地域カフェ(9名)、不登校生徒の居場所12回(20名)、SNS講習会(12名)等を実施したことによって、地域への告知、そして認知度アップを図り、居場所事業として利用させていただく場所が増えた。地元小学校・中学校や、デイサービス施設、スーパーマーケットの会議室、学習塾、飲食店を使わせていただく機会を得て、活動機会が増えた。

参加者からの声から、『次はこんなことをやってほしい。』(学習支援)、『うちの自治会でもやってほしい。』(防災講座)、『中学生を対象としてボランティア講座を開いて欲しい。』(ボランティア講習)などを聞くようになった。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

居場所づくり事業の根幹をなす、場所の確保に関しては、学校・商店などへの拡大が出来ているが、せっかく出来た場所を使っただけで地域住民の有効な使い方を模索しなければならない。
そのため、小学校と協議して、子どもたちと元気な高齢者が一緒に活動できる『学校応援団』としての活動を検討している。また、スーパーと連携した『買い物応援団』(宅配サービスもしくは出前販売など)も検討中である。
また、少しずつではあるが活動が浸透しつつあるように感じる反面、協議会スタッフが増えておらず、地域の参加者からスタッフへとつなげていくことを考えないといけないと考える。
居場所作り事業2年目の課題としては、場所を活用しての地に足を付けた活動の模索と活動スタッフの確保が挙げられます。
このことが、団体の定例活動への励みとなり、参加者増・地域での認知度アップが図れるものとする。

7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし

くらしの「困りごと相談」コーナーとは？ (年間報告)

日頃の暮らしの困りごとなど懇談しながら「生活の知恵」も寄せ合い、相談の会を催しています。日々の暮らし・健康・子供・近隣環境などお気軽にお寄せください！なお、案件によっては「個別相談」もお受けします！(^_^)

4年度来、社会福祉協議会(社協)の協力のもと「押立・車返ささえあい協議会」が、住民主体のまちづくりのモデル地区として発足し、地域住民・民生委員・NPOなど有志により活動を進めています。この「相談コーナー」は“支え合い”活動の一環に、歌唱研鑽会「この指とまれ」主催の歌会に続き「困りごと相談員」などにより催しています。なお、社協の「困りごと相談会」(文化センター毎木曜日)へ連携もします。

これまで、次のような相談などが寄せられ、適宜のアドバイスや関係先との連携を通じ、困りごと改善の一助につなげています。

※この事業は「真如苑助成事業」としての助成金を活用させていただいております。

- ① 団地5階在住、夫が人工透析に。エレベータがなく通院に苦勞<個別相談>
☞近傍エレベータ付 UR(賃貸)へ転居しては？ ☞転居した結果、苦勞解消！
- ② 介護保険の認定を申請したが決定が遅く、介護向け工事の要領も得ない！
☞地域福祉・介護予防コーディネーターが些細再対応 ☞<個別相談へ移行>
- ③ 診断処方医が処方せん記載を間違い、薬局でそのまま強い薬剤が出された。
☞診断時に医師の説明をよく聞いておき、薬局で調剤明細書の確認励行を！
- ④ スマホゲームに夢中になり勉強の時間がなくなり、よく叱られる(年少者)
☞お母さんとよく相談、スマホは1時間以内などを決めて守る習慣にする！
- ⑤ 前に銀行から預金カードの電話あり、今度は裁判所から(普通)郵便が届いた。
☞紛争なく詐欺？と警察へ ☞なお裁判所は「特別送達」(押印要)郵便による。
- ⑥ 歩道脇に年配者が倒れていて嘔吐し意識不明に陥った。どうすれば良いか？
☞脳梗塞？喉元衣類を緩め横にして喉の嘔吐物を除き、すぐ家・119番通報！
- ⑦ UR 高層賃貸団地；地震の際エレベータが止まれば、救助などはどうする？
☞健常者が何人かで抱え☞非常階段で救出 ☞各棟階段毎に班長等を決めて！
- ⑧ 多摩川洪水特別警報(国交省・市)エリアメールの時、どう行動すれば良いか？
☞避難所へ必需品持参し自主避難 ☞避難困難者は自治会役員へ協力要請を！
☞自治会は震災対策に準じ「班」や「5人組」などによる対策の検討へ。
- ⑨ 洪水避難勧告が出たが、避難所が遠く駐車場も満杯。近くの他市施設では？
☞自治連はアンケート結果を市へ既提出。☞市は避難情報や対策を再検討へ！
- ⑩ スマホメールに、預金不足で引落とし不可、直ぐに〇〇に電話されたい旨。
☞〇〇へは電話せず、預金残高確認し不足なし ☞ 新手の詐欺か？要注意！

マンション防災ワークショップ

マンションで
大地震を
生き延びる！

避難所にいけば、物資
もらえるよね？
犬は連れていけるの？



マンションだけど、避難
所に行けば良いのよね？

耐震性が高くて、破損した
ら補修が必要だよ？
ライフラインが止まったら、
高層階で住み続けられるの？

避難所は嫌。自宅に
居たいけど、水・食
料や情報は？

子どもや出勤中の家
族の安否はどうやっ
て確認するの？



参加費
無料

日時

2020年2月16日(日)

午前10時～15時(9:30受付開始)

※昼食を用意します。飲み物持参ください

場所

府中六中視聴覚室(上履持参)

先着
60名

主催

押立車返ささえあい協議会

講師

NPO法人かながわ811ネットワーク/長田香(防災士)

大地震の時、自分たちで出来ることを身につけておきましょう！
今回はマンションにお住まいの方に特化した防災セミナーです。
地域の特性を知り住人同士でどう取り組むべきか、ヒントがあります。

タイムテーブル

- 9:30 ~ 受付開始(事前申込者が優先です)
- 10:00 ~ 10:30 この地域の揺れの度合い・被害想定を知る
(大阪・熊本地震の画像から被害を知る)
- 10:30 ~ 11:30 マンションにおける防災対策(質疑応答を含む)
- 11:50 ~ 12:50 災害時の食事(ポリ袋調理)を体験しよう(昼食)
- 13:00 ~ 14:30 マンション被害想像ゲーム(安全確保～自宅避難
～地域との連携)※マンションライフラインの確保

※参加申込み方法は、裏面をご覧ください。事前申込制です。

押立車返ささえあい協議会 主催 マンション防災ワークショップ 参加申込用紙 ～2020年2月16日(日)開催～

下記、必要事項をご記入のうえ **2020年2月8日(土)まで**に、
以下へ、メール、電話、FAX、郵送のいずれかでお申し込みください。

申込日:

ふりがな 氏名	年齢	歳	性別	男・女
連絡先	住所:			
	電話	携帯		
	E-mail			
ご職業				
参加動機	※当日の懇談内容に取り入れさせていただきます。			
お住まいの マンション名				
質問、ご要望	※事前に質問などがあればお書きください。			

申込用紙送付先

〒183-0012 押立町 4-34-21 大間 努 宛

メール: oshitate-sasaesai@outlook.jp

TEL: 080-4193-8855 FAX: 042-456-0223

<https://www.facebook.com/oshitate.sasaesai/>



主催: 押立車返ささえあい協議会 後援: 府中市 / 府中市社会福祉協議会
講師: 認定 NPO 法人かながわ 311 ネットワーク / 長田 香 (防災士/看護師)
協力: 復興支援隊☆チーム府中

※本事業は、「真如苑助成事業」多摩地域市民活動公募助成を活用しています。

みんなでいっしょにささえあえるまちづくり 押立・車返ささえあい協議会

oks88

第2回 わがまちカフェ

【日時】 2020年2月22日(土)13:30~15:30
【場所】 押立文化センター(府中市押立町5-4) 2階 講堂



(O)押立・(K)車返(S)ささえあい協議会では、地域のみなさんが、お茶っこのように気軽に集まって話しをしたり、みんなとつながれる場「わがまちカフェ」を開催します。

＜今回のテーマ＞
地域資源・強みマップ作りのために！

強みとして地域に
今あるものを活用
できないか？

来春からマップ作りや
まち歩きなどしてみたい！

そんな楽しいコトやアイデアを聞いたり、話したりしましょう。

お名前 _____ ご連絡先 _____

ご住所 _____

【お問い合わせ・受付は、こちらまで】

メール: oshitate-sasaeai@outlook.jp

TEL: 080-4193-8855 FAX: 042-456-0223

この事業には「2019年度 真如苑助成金」が活用されています。

押立車返ささえあい協議会

地域の寺子屋

小中学生自習教室

日時：●8/17(土)14:00~16:00
場所： デイサービスセンタースカイ2階
(車返団地内 旧スター銀行2階)

日時：●8/24(土)14:00~16:00
場所： 押立文化センター2階 会議室
(参加費不要・途中参加・退室自由です。)

基本は自学自習。学校の学習のサポートをします。
対象：押立町・車返団地地区にお住まいの小中学生。
※学習したい内容は自由ですので、各自でテキストやワークブックを持参してください。
夏休みの宿題持って、みんな 集まれ~(^^)/

注意事項

- 自転車/徒歩/服装は自由です。(安全には十分注意してお越しください。)
- 飲み物は持参OKですが、お菓子等の食べ物は禁止します。

保護者のみなさまへ

- 地域の寺子屋は、押立車返ささえあい協議会が主催し、地域のみなさんで作っていく、アットホームな寺子屋を目指します。どうぞ、お子さまと一緒に参加してみませんか？

主催：押立車返ささえあい協議会 担当：大間(090-8757-6468)

当会は府中市および府中市社会福祉協議会が協力推進した事業で、地域の様々な困りごとを住民自らが解決していくための組織です。地域の寺子屋は、その事業の一つとして開催しています。定期的に「地域の寺子屋」を開催し、子どもたちの学びの場(居場所)づくりのお手伝いをします。この事業には「2019年度 真如苑助成金」が活用されています。



押立公園夏まつり出店



ご近所防災訓練



にこにこカフェ



おれんじの会



地域の寺子屋

(* ^ ^ *)
 sasae-ai
 わがまちささえあい協議会
 (^ o ^)

OKS88

Oshitate & Kurumakaeshi Sasae-ai



押立車返ささえあい協議会 (直通電話)

080-4193-8855

押立・車返ささえあい協議会活動チーム

ちょこっとお手伝い
 30分～1時間程度の、ちょこ
 としたお手伝いを有償で行っ
 ています。
 ボランティア募集中です。

地域の寺子屋
 不定期 月1～2回
 小中学生(高校生も可)が自習で
 できる場所を提供しています。
 子どもの居場所以外にも、地域
 の方向けの勉強会も企画して
 います。

防災・安全活動を通して
 つながりづくり
 自治会がない集合住宅での防
 災訓練実施や、地域で実施され
 ている防災活動への参加を通
 して、日ごろからの「互近所」
 のつながりの必要性をPRして
 います。

わがまちカフェ開催
 年1～2回、地域の皆さんと
 つながり、声を聴く機会を企
 画しています。

この指とまれ 唄サロン
 毎月第2金 13:00～
 第4金 18:00～
 押立文化センター
 以前から地域で活動していた、歌
 唱研鑽の「この指とまれ」の活動
 に合わせて、参加者のちょこっ
 とした心配事をきく「くらしの困りご
 と相談コーナー」を設けていま
 す。

にこにこカフェ
 毎月第4木曜日
 13時～15時
 車返団地2街区集会場
 お茶を飲みながらおしゃべり
 できるサロンです。座りながらで
 きる簡単ヨガも好評です。

男の料理教室
 不定期 月1回土曜日
 10時30分～13時
 押立文化センター
 男性対象の料理教室です。みん
 なで楽しく料理を作りながら、
 仲間づくりをしています。

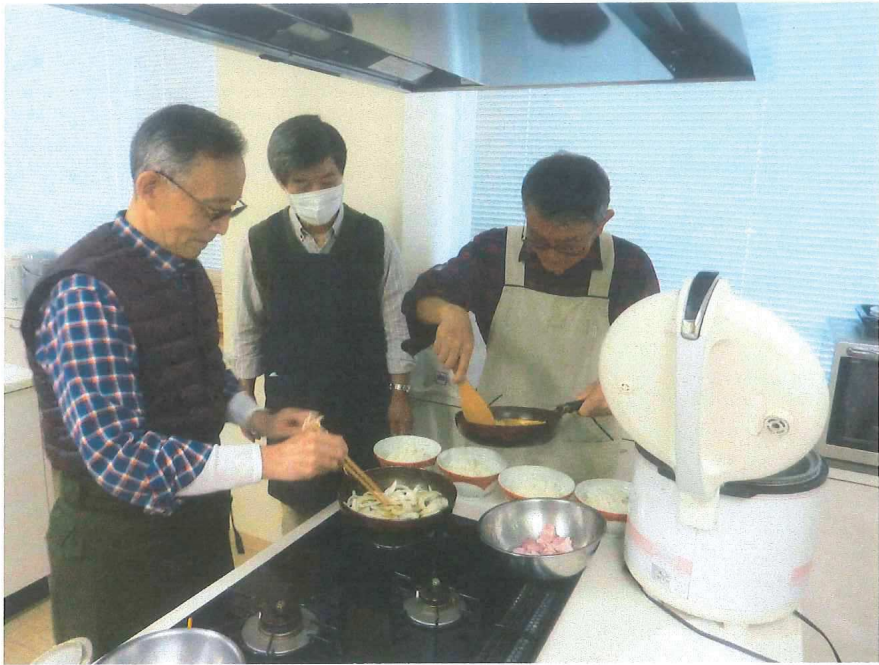
※毎月第3土曜日 10:00～全体会議(みんなの会)実施しています。

どなたでも事前申込み無しで参加できます。どうぞお越しください。

押立車返ささえあい協議会(OKS88)の活動には、どなたでも参加
 できます。現在、上記のような活動チームがありますが、参加する方
 が主体となって新たな活動チームを作ることも可能です。

ぜひ一緒に地域をみんなでささえる活動を進めましょう!

※当協議会の事業は「真如苑助成金」が活用されております。



男の料理教室



にこにこカフェ



寺子屋



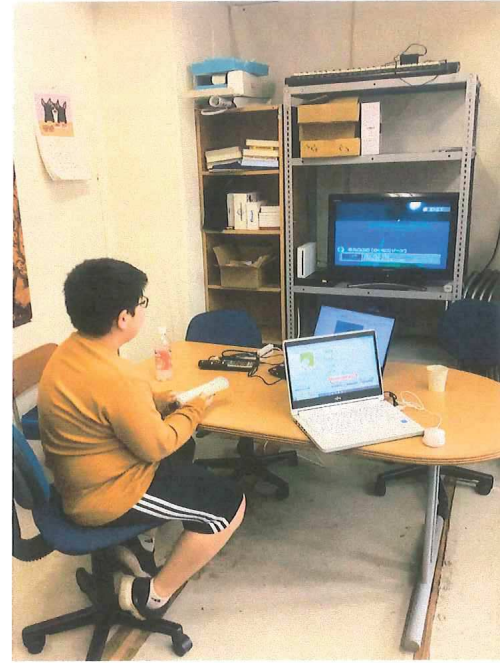
唄サロン



マンション防災ワークショップ



ポリ袋調理



居場所事業



わがまちカフェ（課題啓発事業）